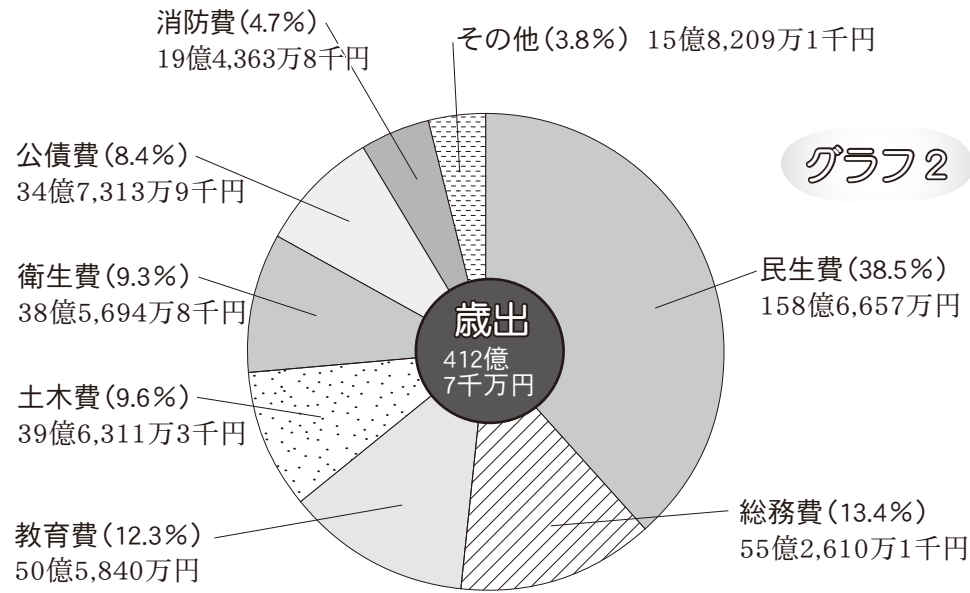




狭山元氣大学のキャンパスとなる狭山元氣フーザ(旧狭山台北小学校)



23年度に耐震補強工事が実施された奥富小学校の体育館。24年度は4校を実施



グラフ2



重点事業の狭山市駅上諏訪線

市民一人当たりの歳出 表3

民生費	10万1,337円
総務費	3万5,294円
教育費	3万2,307円
土木費	2万5,312円
衛生費	2万4,634円
公債費	2万2,182円
消防費	1万2,414円
その他	1万105円
総額	26万3,585円

一般会計の歳出では、高齢者や障害者、児童などの福祉に使われる民生費158億6千657万円が最も多く、全体の38.5%を占めています。次に、庁舎や財産の管理など、市の運営などに使われる総務費55億2千610万1千円(13.4%)、学校教育、社会教育、生涯学習活動の充実、文化スポーツ振興などに使われる教育費50億5千840万円(12.3%)、続いて土木費(9.6%)、衛生費(9.3%)、公債費(8.4%)、消防費(4.7%)の順になっています。

表3は目的別歳出を市民の皆さん一人当たりで換算したもので、約26万円が使われる見込みです。また、表4は歳出を性質別に表したもので、人件費が全体の

歳出の性質別内訳 表4

区分	金額	内容	割合
人件費	101億1,335万円	職員給与、共済組合負担金、退職手当負担金、議員報酬など	24.5%
扶助費	93億6,435万1千円	社会保障制度の一環として、法令などに基き被扶助者に支出される経費。生活保護費、児童手当費など	22.7%
物件費	75億7,053万4千円	他の性質に属さない消費的な経費。委託料、備品購入費、臨時職員賃金など	18.3%
繰出金	39億7,518万1千円	特別会計へ支出する経費	9.6%
公債費	34億7,313万9千円	借入金の元金や利子の支払に要する経費	8.4%
投資的経費	30億4,652万3千円	道路や施設の建設のための経費など	7.4%
その他	37億2,692万2千円	各種補助金、貸付金、維持補修費など	9.1%

の24.5%で、続いて生活保護費、児童手当費などの扶助費(22.7%)、委託料、備品購入費などの性質に属さない経費の物件費(18.3%)となっています。

問合せ財政課へ内線7113

歳入

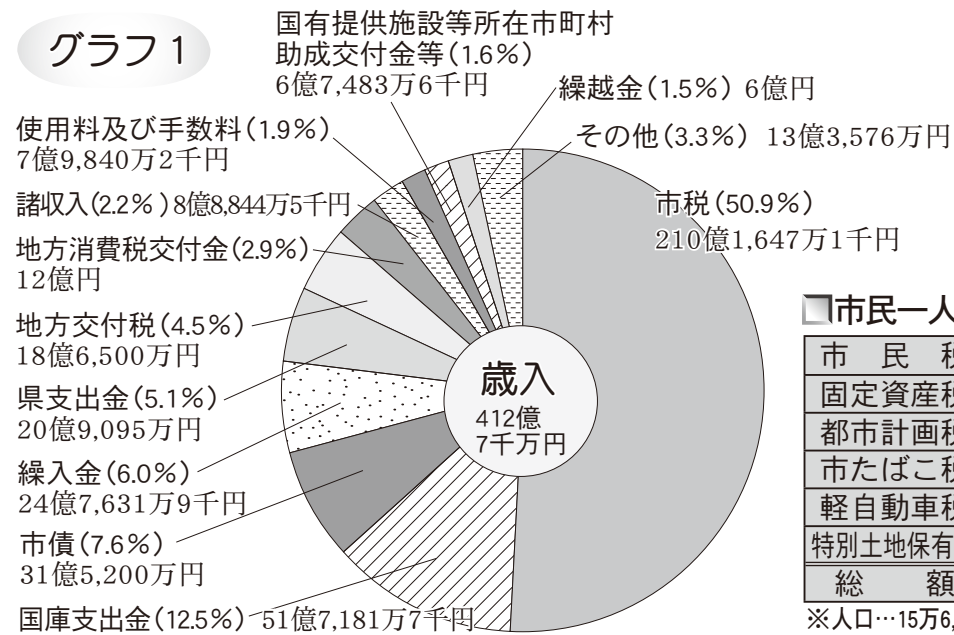
一般会計の歳入のうち最も多いのが、個人市民税や法人市民税、固定資産税などの市税210億1,647万1千円で、全体の50.9%を占めています。続いて多いのが、市が行う特定の事業に対して国から交付される補助金などの国庫支出金(12.5%)、事業を行うために国などから借り入れるお金である市債(7.6%)、市の預貯金からの繰入金(6.0%)、県支出金(5.1%)、地方交付税(4.5%)などの順になっています。また、表2は、市税の歳入を市民の皆さん一人当たりで換算したもので、市民税が全体の約47.6%を占めています。

平成24年度予算の一覧表

区分	平成24年度(前年度比)	増減率(%)
一般会計	412億7千万円 (47億3千万円減)	△10.3
特別会計		
国民健康保険	169億1,293万8千円 (16億3,416万4千円増)	10.7
狭山市計画事業狭山市駅東口土地区画整理事業	4億1,959万1千円 (2,708万2千円減)	△6.1
介護保険	76億9,066万4千円 (1億2,113万7千円増)	1.6
後期高齢者医療	14億5,790万8千円 (1億7,085万4千円増)	13.3
計	264億8,110万1千円 (18億9,907万3千円増)	7.7
公営企業会計		
水道事業	39億7,121万3千円 (6,146万8千円増)	1.6
下水道事業	49億3,200万円 (3億5,168万6千円減)	△6.7
計	89億321万3千円 (2億9,021万8千円減)	△3.2
合計	766億5,431万4千円 (31億2,114万5千円減)	△3.9

※水道・下水道事業の公営企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額

グラフ1



市民一人が負担する市税 表2

市民税	6万3,867円
固定資産税	5万7,482円
都市計画税	6,170円
市たばこ税	5,601円
軽自動車税	1,108円
特別土地保有税	1円
総額	13万4,229円

※人口…15万6,572人(24年1月1日現在)

効率的・効果的に配分 平成24年度の当初予算

平成24年度当初予算が第1回定例市議会にて成立しました。市財政の中心となる一般会計の予算額は、412億7千万円、前年度に比べ47億3千万円(10.3%)の減となりました。また、特別会計、公営企業会計を含めた予算総額は、766億5千431万4千円、前年度に比べ3.9%の減となりました。24年度当初予算では、限られた財源をより効率的、効果的に配分し、経費の縮減を図りつつ、必要な事業へ重点的に配分しました。ここでは、主に一般会計予算の内容を歳入歳出別にお知らせします。

一般会計412億7千万円
総額766億5千431万4千円